

独断

注目商品

REVIEW

栽培期間の長い作物に最適！



■お問い合わせ
アグロカネシヨウ株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19
TEL 03-5570-4711
<http://www.agrokanesho.co.jp/>

かつて線虫対策に使う土壌消毒剤は、線虫だけでなく他の土壌病害菌や雑草防除にも効くものが、巷では「いい薬」と呼ばれていた。つまりところ、総合土壌くん蒸剤と呼ばれるものだ。ところが臭化メチルがオゾン層破壊物質として使用が制限されるなど、これまで「いい薬」とされていた薬剤のなかに、使えなくなるものが多くなってきた。「いい薬」が本当に良かったかどうかはともかく、新しい農薬のスペクトルは、全般的に狭くなる傾向にある。

この流れで農薬メーカー各社がラインアップを充実させているのが粒剤、つまり接触型線虫防除剤である。粒剤の場合、散布して混和するだけであり、くん蒸剤のように被覆したリガス抜きしたりという作業の手間がない。使い勝手のよさもあり、くん蒸剤のような刺激臭も少ないため、最近では使用量が増加している。アグロカネシヨウ株式会社は、これまでバスアミド微粒剤やDD剤など、くん蒸剤のみをラインアップしていたが、今年1月にネマキック粒

接触型線虫防除剤

⑤ネマキック粒剤

剤という、独自に開発した粒剤を発売した。本剤に1・5%含有される有機リン系の化合物イミシアホスは、適切な濃度で土壌中に混和されると、線虫の運動能力を鈍らせて、植物の根に侵入するのを阻害する。つまり線虫は植物へと移動できず、また根に侵入することもできない。このため長期間栄養を摂取できず、体内のエネルギーを消耗して死に至ると考えられる。卵に対しては、ふ化を抑制する作用がある。

イミシアホスは、ネコブセンチュウ類、ネグサレセンチュウ類、シストセンチュウ類に高い防除効果を示す。本剤の適用作物はダイコン、ニンジン、イチゴ、ナス、トマト、ミニトマト、キュウリ、メロン、スイカ、サツマイモ、ジャガイモとなっている。このうちネグサレセンチュウ類に対しては、特に防除効果が優れる。

同社カタログでは「極端に線虫の密度が高い場合」には、DD剤と本剤を併用する体系処理を提案している。DD剤は即効性があるが一過性であるため、残効の長い本剤と組み合わせることで効果を補う使用法だ。また、太陽熱消毒との体系処理によって効果を高める方法も挙げられている。さらに土壌病害や雑草防

除との同時防除を行う場合は、バスアミド微粒剤との体系処理を提案している。

石灰資材との同時処理ができるのも注目できる特徴だろう。例えばクロピクリンなどは消石灰等アルカリ性肥料と併用できないが、本剤は同時処理を行っても、効果や被害は特に影響がない。そもそも作物に対する被害は少ない。基本的に登録使用量での各種作物に対して、被害はほとんど認められていないという。ただし、砂質土壌でのトマトには褐変などの事例もあるとのこと。

他の粒剤に比べて、本剤に際立った特徴があるとすれば、土壌中での拡散性が良いことだろう。これは本剤の水溶解度が高いことに起因している。このことは施用後に成分がむらなく広がることで安定した効果が期待できる。また黒ボク土や砂土といった土壌の種類による効果の違いが比較的小さく、安定した防除効果がある。

気になるコストは10a当り1万5000円程度。安い薬剤ではないが残効が長いので、栽培期間の長い作物、例えばトマトなどに適している。また、シストセンチュウ類に防除効果があるので、種子ジャガイモ栽培にも期待が持てる。（長谷川竜生）